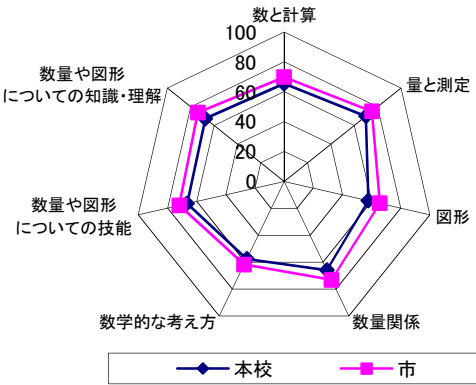


宇都宮市立新田小学校 第3学年【算数】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度	
		本校	市
領域別	数と計算	65.3	69.8
	量と測定	70.0	75.2
	図形	57.8	65.7
	数量関係	65.9	73.1
観点別	数学的な考え方	57.6	61.7
	数量や図形についての技能	66.5	72.0
	数量や図形についての知識・理解	67.4	73.8



★指導の工夫と改善

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
数と計算	・宇都宮市の平均正答率と比べ4. 5%下回っている。たし算・大きい数・分数等では、宇都宮市の平均正答率を1～2%程度上回っている。	・それぞれの計算の仕方をもう一度復習しながら、繰り返し計算練習に取り組ませ、習熟を図る。
量と測定	・宇都宮市の平均正答率と比べ、5%下回っている。重さや量の単位を選ぶ問題は正答率が84%と高いが、長さや時間の読み取りの正答率は60%以下と低い。	・作業的・体験的な活動を多く取り入れ、実際に長さを測定したり、時間の読み取りをしたりと、長さや時間的感覚を養えるようにする。
図形	・宇都宮市の平均正答率と比べ、7%下回っている。特に、直方体の構成要素については、市と比べて12%以上、下回っている。	・直方体を作図する中で、図形を構成する要素に着目させるように指導する。また、身近な図形を、辺や頂点、点、面の数に着目することによって、分類させたり、図形の名称をしっかりと覚えさせたりすることで習熟を図る。
数量関係	・宇都宮市の平均正答率と比べて、8%下回っている。□を使った乗法の文章問題での正答率は、48%と低い。また、棒グラフの読み取りの正答率は53%と低く、市と比べると、18%下回っている。	・棒グラフの1目もりがどれぐらいを表しているかを読み取る練習をする。さらに実際にグラフに表わす練習をさせ、習熟を図る。